

令和3年6月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①新型コロナウイルス感染症への対策を引き続き進めるとともに、国・県の補助金等を活用し、②教育環境の充実や③都市基盤・交通基盤の整備を図る。また、農業の振興や県市連携による公営住宅の集約化などを推し進める。

まず、①濃厚接触者等へのPCR検査やスクリーニング検査の費用を追加補正し、今後の感染拡大やクラスター発生に備えて検査体制を強化する。次に、飲食店への時短要請や外出自粛などの影響を受けた事業者を支援するため、最大30%のプレミアム付商品券を発行する準備を進め、時機を見極めて実施する。また、コロナ禍で困難や不安を抱える女性のために、SNSを活用した相談窓口を設置するとともに、生理用品の無償提供をきっかけに状況を把握し、適切な支援につなげる。さらに、市立の小学校・中学校で修学旅行等の延期や行先の変更などで発生したキャンセル料や追加費用を補助する。

次に、②医療的ケアの必要な児童が在籍する市立の小学校に看護師を配置し、地域の小学校・中学校で児童・生徒を受け入れ、支える体制を整備し、効果的な運用を調査研究する。また、豊かな自然環境を生かした体験学習などに取り組み中島中学校が、令和4年度から全市域を対象に生徒を募集するため、寄宿舎「青潮寮」で体験入寮を実施する。このほか、不登校対策や部活動改革の先進的な取組を各モデル校で実施し、その成果を今後の教育事業に生かす。

さらに、③交通事業者による低床路面電車（LRV）の購入を支援するとともに、国が実施する松山空港や松山港外港整備の事業費の一部を負担するなど、都市基盤・交通基盤を整備する。

加えて、平成30年7月豪雨災害から復旧した園地での施設整備や、高収益が期待されるブランド柑橘の生産基盤を強化する設備の導入などに補助し、農業の継続や農業者の所得向上などを目指す。また、県と連携し、北条地区で進めている公営住宅の集約建替事業で、進入路を拡幅する。

2. 主な事業

(単位：千円)

① 新型コロナウイルス感染症への対策

(1) 感染症対策事業	322,188
(2) 松山市プレミアム付商品券事業	295,000
(3) 女性のための相談強化等事業	9,013
(4) 新型コロナウイルス対策修学旅行等支援事業	22,008

② 教育環境の充実

(1) 医療的ケア児に対する支援体制整備事業	4,729
(2) 寄宿舎運営管理事業	1,122
(3) 研究指定校事業	2,064
(4) 中学校運動部活動指導支援事業	1,346

③ 都市基盤・交通基盤の整備

(1) 公共交通利用促進環境整備事業	100,000
(2) 松山空港国直轄整備事業地元負担金	91,483
(3) 松山港国直轄整備事業地元負担金	93,654
・産地競争力強化事業	39,831
・市営住宅建替事業	46,000

3. 補正予算の規模

(単位：千円)

区分	6月補正額	累計	対前年同期伸率
一般会計	1,091,604	206,828,281	△ 16.36 %
特別会計	—	139,935,500	4.36 %
企業会計	—	47,687,200	△ 1.70 %
計	1,091,604	394,450,981	△ 8.24 %
公債管理特別会計	—	17,014,000	
合計	1,091,604	411,464,981	

4. 議案等

○予算案	1件
○条例案	9件
○事件案	3件
○人事案	4件
(計)	17件
○報告	14件